

# みやけの風

## 第 47 号

平成13年(2001年)9月22日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階  
 東京ボランティア・市民活動センター 気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「行って来たかよ」「おうよ」「おらげは台風で延期だじよ」「だから。なかなか思うようにいかねえな」「島はどうだったよ」「んー、エー(家)によって、まちまちだな。でもよ、島を見られたってことでよ、何だかホッとしたぞ」「そっからまた出発だな」「だから」

### みんなの声

(1) 1

#### 竹芝棧橋発

10時30分、カメラ丸は島民の様々な思いを乗せて、竹芝棧橋を離れ、波静かな海を一路、故郷三宅島に進路を取る。

朝、起床の船内放送は未だ無い。客室の小さな窓に二つ三つと額を擦り付け、故郷の灯りを捜す。やがて「おい、見えたぞ」「あれは発電所の灯りだ、あっちの灯りは伊豆岬だ」「今日は錆ヶ浜だな」声が飛び交う。多くの島民が島影を求め甲板に出て、その姿を見つけると歓声が挙がった。中にはハンカチで涙を拭う姿も多く受けられた。

#### 一年ぶりの故郷の土

夜明けと共に錆ヶ浜に着岸、下船し一年ぶりの故郷の土を踏んだ。

行き先毎にバスに分乗、我が家に向かう約30分の道のりが長く感じられた。途中、鉄砲場、空栗橋の土石流の生々しい爪痕をまざまざと見せつけられる。大久保の坂を下り始めると、眼前に見慣れた真っ黒の砂浜が広がると、思わずため息が漏れる。心の底から熱いものが込み上げてきた。

#### 家人のいない留守宅へ

我が家の玄関に立ち、鍵を開ける手が心なしか震えているのを感じた。鍵は心配していたのと裏腹に簡単に開いてくれ、大きく左右に開いて思わず「ただいま」と大声をあげて、「誰も居ないのに」と笑う。家の中に入ると、食堂の床、テーブルとも埃で真っ白に染まっていた。ネズミか、猫か、又イタチの仕業か、残してきた食品の食べ残りのビニールがあちらこちら散乱している。暫く茫然と立ちつくしたが「被害の大きかった人のことを思えば、こんなことくらい」と我に帰り動き出す。

まず最初に、一年間留守宅を守ってくれた神棚に、東京から持参した榊をそなえ、感謝の気持ちを伝え拍手を打つ。

さて、戦闘開始だ。家族おのおのの依頼の品を求め、家中を走り回りかばんに押し込む。風も無く温かい日だったこともあり、全身汗ビッシヨリ、流れる汗を拭いながら帰島できない家族に見せるため、家中の写真を取りまくる。その間、押しかける報道陣の取材の対応と、息つく間もなく時間は過ぎ去った。予定していた3分の1しか実行出来なかったのは、心残りだが。

9月27日(木)に予定されていましたが、  
 東村山のいきいき健康教室は中止となりました。  
 ご注意ください!

再び故郷との別れ

バスに乗り錆ヶ浜に向かい、カメラア丸に乗船。棧橋を離れ、一路竹芝棧橋に向けて出航した。船中、皆疲れたのか、東京港に入るまで熟睡していた。棧橋到着後、ふれあい集会での再会を約束し解散、おのこの家族の待ちわびる自宅(仮住まい)に向け、三々五々急ぎ足で帰っていった。多分、今夜は話が尽きないことだろう。こうして念願であった一時帰島は事故もなく、第1陣の全日程を終了した。

今後を家族全員で話し合いたい

これを1つの区切りとして、撮影してきたビデオ、写真を見ながら、今後の避難生活を取りきっていくのか、再度家族全員で話し合いを持ちたいと思っている。

この後に続く島民の一時帰島が無事終わることを祈る。しかしながら、この時点での心残りは、神着地区の一時帰島が台風のため、延期されたことを知ったことである。次回の予定日には、必ず実現することを願う。

平成13年9月20日

(町田市避難 民宿飯沼 代表 飯沼 正義)

(2) \_\_\_\_\_

連合東京ボランティアサポートチーム(VST)は、労働組合の新たな社会貢献活動のひとつとして、ボランティアリーダーの育成を97年から行なってきました。

昨年、三宅島災害における火山灰の除去作業へもメンバーを派遣し、活動をしてまいりました。また、先日は三宅島社協の三谷さんをお招きし、三宅島の現状と課題についてお話しをいただき、私たちに出来る

ことを模索してきたところです。

今回の三宅島島民ふれあい集会においても、連合東京VSTとしてささやかなお手伝いが出来ればと思っています。当日、皆さんにお会いできることを楽しみにしていますので、VSTのユニフォームを見かけたら、是非声を掛けて下さいネ!

(連合東京 真島 明美)

三宅島支援東京センターより

第3回三宅島島民ふれあい集会の事前顔合わせが、9月21日(金)午後7時より会場の港区立芝浦小学校にて行なわれました。37名のご出席をいただき、無事終了いたしました。

島民実行委員をはじめ、三宅村役場職員、支援前回、前々回に引き続き、ご協力いただけた方々、今回新たにご支援、ご参加いただける団体など、会場は「島民の皆様要充分に楽しんでいただけるように」という気持ちで満ちていました。

前日の設営は、会場の芝浦小学校のご都合により、午後4時からの予定なので、たくさんの手で短時間で行なう必要があります。また、日が短くなっているため、当日終了後のかたづけなどにも多くの手を必要としております。

島民の皆様には、一時帰島を済まされた方、また、集会の翌日帰島される方、避難先が遠くて早く帰りたい方、いろいろご都合はおありだとは存じますが、出来る範囲で結構です。お近くの方、ご都合のつく方、力自慢の方、どうぞ、ふれあい集会実行委員会までご連絡くださいませ。

「前日」集合時間:9月29日(土)午後3時 港区立芝浦小学校 体育館  
 「当日」集合時間:9月30日(日)午前8時 同じく芝浦小学校 本部テント前  
 連絡先:三宅島支援東京センター TEL:03-3260-7573